


The legend of OBASAN



ここにいます
「がん電話情報センター」
あなたの知るを助けます

ancer

(全国一律の電話料金でご利用いただけます。
PHS、一部のIP電話からはご利用いただけません。)

おーこここにしようほう
0570-055224
受付時間：平日 12:00~17:00
(土日・祝祭日・年末年始・夏期休業を除く)

先日クリーニング店のご主人と、天候の話から米の話になった。ちなみに私の住まいは東京・新宿区にあり、クリーニング店は家の近くにある。

「実は、新潟に田んぼを持っているんです。田植え、草取り、収穫などで年数回通っています。それだけでは足りず地元の方々にも応援してもらっています。ところが息子は、往復の交通費、管理費、収穫した米の運搬費用を計算すると、近所で買ったほうが安いと言うのですよ」とご主人。息子さんには悪いが、私は即座に反論してしまっただけで、いや、余力(まず田んぼそのものの、通える資金と時間等)があるなら、是非とも可能な限りお米を作り続けてください。日本の豊かな環境維持のため、水田はとても大事だそうなんです。私は声援しかできませんが」

「伝説のおばさん」のオススメ Ⅱ

回覧板の効用



Akiko Hashimoto



NPO法人血液情報広場・つばさ理事長、
がん電話情報センターCTIS相談主任、
日本骨髄バンク(骨髄移植推進財団)常任理事

橋本 明子

海、山、水、空気、社会。何事も、近視眼的な計算で割り切ってしまうてはいけない側面があって、無数のちょっとした力の要る関わりが維持していることを、たまには思い出さないとけない。

そのクリーニング屋さんには、町会長さんでもある。

私は、また子育て中だった頃、町会なんてめんどくさく嫌だと思っただけがあった。数年に一度回って来る「組の役員」になると、町会費集金、役員会、回覧板作成など、けっこうな雑務があるのだ。お金払うから、閑な人が誰か代ってよ、と思っただけだが、それは原則だめ、お金で解決する方法はない。

ところが近年、「町会」が無い地域の「防犯」が問題になっていると聞いたことがある回覧板と共に「田舎から干し柿が届いたから」などと四季折々の話題も回って来て、いつの間にか老人の域に入ったお隣のおじちゃんが、今日も元気がどうかもわかる。

そうは言いつつ、私は今もって閑ではない生活。そろそろ回って来る組役員を、何とか夫に押しつける算段をしているところだ。